

魅力ある畜産を次世代に

役員改選で新部会長に坂田昌平さん、副部会長に谷山英樹さんが就任。石坂友信部会長が「繁殖維持・増頭を目指し、目標に向けて部会員の意識を統一し、魅力ある畜産を次世代に引き継ごう」と述べ、坂田新部会長は「関係機関と協力し、部会目標達成に向け尽力する」とあいさつしました。

令和7年度は、部会推進計画「MNOプラン(新しい世代への継承、個々よりも組織力、明確な目標と成長戦略)」を推進し、経営の安定、後継者支援に力を入れます。※MNOは「経営管理」「新世代」「組織化」を意味する頭文字から名付けた。

〈令和6年度 優秀農家表彰〉※飼養頭数で3つのグループに分け、部門ごとに表彰

雌

1～25頭の部：井智幸、26～60頭の部：中山智光、61～の部：(株)高山

去勢

1～25頭の部：近藤裕樹、26～60頭の部：中山智光、61～の部：(有)ナガシオ

ETスモール

(株)グローイングファームミヤムラ

繁殖回転率

1～25頭の部：前田裕治、26～60頭の部：山下武男、61～の部：谷田善紀

※JAは1996年、地域内、経営内一貫体制を目指して繁殖事業に本格的に参入。部会は99年に発足。



あいさつする石坂部会長



新役員紹介であいさつする坂田部会長(右)

一貫繁殖牛部会・広域放牧利用組合

令和7年度の放牧始まる 地域内・経営内一貫生産を目指す

肉用繁殖牛(黒毛和牛)の令和7年度放牧が5月21日から始まりました。牛の状況や牧草の状況を見ながら順次放牧し、12月まで延べ200頭を予定しています。生産コストの削減と優良子牛生産で「地域内・経営内一貫生産」を目指します。

雨が続き例年より1週間ほど開始が遅れました。当日も小雨模様となりましたが第一陣として10頭が牧野に放たれました。ダニ熱や滑落事故がないよう、県家畜保健衛生所や地域振興局の協力を得て、3週間に一度検査を行います。



養豚部会 令和6年度総会

常に危機管理を持った防疫意識で消毒の徹底を

令和6年度事業報告、令和7年度事業計画など3議案を可決・承認。7年度は「防疫の徹底」「生産成績の向上」「配合飼料価格の協議」を重点取組事項に掲げ、家畜伝染病のリスクが高まる中、常に危機感を持った防疫意識を持ち、消毒の徹底を行います。

飼料、資材価格の高止まり等により畜産情勢は非常に厳しい状況です。JAグループを通じ、国に対策要望を訴えかけ、生産性・経営の健全化に努めることなどを確認しました。吉田秀一部会長は「部会員一丸となり、畜舎、車輛、車内消毒など防疫体制を徹底し、上・中物率の向上に努めよう」とあいさつしました。



あいさつする吉田部会長

肉牛部会 令和6年度総会

スケールメリットを活かし、質の高い肉質生産

役員改選で部会長に安武孝浩さんが再任。副部会長に安武俊文さん、中野貴哉さん、斉藤拓矢さんが就任。安武部会長は「JA菊池肉牛部会のスケールメリットを活かし、質の高い肉質生産に励もう」とあいさつしました。

令和7年度は、伝染病の侵入防止を重点項目に掲げ「配合飼料価格の協議」「防疫の徹底」「生産性向上」を重点取組事項としました。

部会員一人ひとりが生産性の向上に努め、今出来ることを確実に実践し、消費者に安全・安心・美味しいを届けることを確認しました。部会員一丸となって肥育技術の向上、衛生管理の徹底、事故率の低減で「きくちのまんま牛」のブランド普及に努め、所得の向上と経営安定を図ります。

〈令和6年度報奨(ポイント制で対象者を選定)授与〉

交雑種研究会 1位：大塚晃生、2位：坂本正信、3位：岩根公俊

褐毛和種研究会 1位：(株)SAITOH FARM

黒毛和種研究会 (去勢) 1位：(株)佐々畜産、2位：(株)出口畜産、3位：(株)内田畜産

黒毛和種研究会 (雌) 1位：斉藤秀生、2位：(株)中林ファーム、内田和浩



第19回 JA熊本経済連 肉牛枝肉販売促進会

3部門全てで上位入賞！ 肉質向上と県産ブランド確立を！

七城町にある(株)熊本畜産流通センターで開かれました。生産農家の経営安定、熊本県産牛の肉質向上と県産ブランド確立を目的に毎年開かれています。県内生産者から74頭の出品がありました。管内より46頭を出品。グランドチャンピオンは惜しくも逃しましたが、3部門全て上位入賞を果たしました。管内入賞者は次の通りです。

交雑種の部	金賞	山田勝郎
褐毛和種の部	金賞	(株)SAITOH FARM
黒毛和種の部	銀賞2席	(株)中林ファーム
脂質賞		山本哲士

※脂質賞は、枝肉の脂肪交雑度や脂肪の質、脂肪の分布などが評価されたものです。



交雑種

褐毛和種

黒毛和種

肥育用素牛育成部会 令和6年度総会

優良素牛生産維持・拡大を！

令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算を可決・承認。令和7年度は、事業方針として「事故率の低減」「衛生管理の徹底」「防疫体制の強化」を掲げ、優良素牛生産基盤の維持・拡大に取り組みます。

上田忠昭部会長は「良質な牛肉をお届けできるよう良質な牛を育てよう。畜産を取り巻く環境は未だ厳しいが、部会員の気持ちを一つとし、乗り越えよう」とあいさつしました。関係機関との連携で、環境改善対策を徹底し、優良素牛生産に励みます。



あいさつする上田部会長